# XDR (eXtended Detection and Response) ESET Inspect on-prem (V2.6) 導入手順書

第1.0版

2025年6月12日

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

# 改訂履歴

版数	発行日	改訂履歴
第1版	2025年6月12日	初版発行



1.はじめに	4
2.システム要件	5
3.導入の流れ	7
4.事前準備【EP on-prem 側作業】	8
5.データベースのインストール【EI on-prem 側作業】	.16
6.EI Server のインストール【EI on-prem 側作業】	.35
7.EI Connector の展開【EP on-prem 側作業】	.44
8.EI Web Console の確認【EI 側作業】	.58
9.EI on-prem 導入時の ESET Endpoint 製品の推奨設定	.61

## 1. はじめに

- 本書は、XDR (eXtended Detection and Response)の「ESET Inspect on-prem」を ご利用になるお客さま向けの導入手順書となります。
- 本書は、本書作成時のソフトウェア及びハードウェアの以下の情報に基づき作成されています。ソフトウェアのバージョンアップなどにより、記載内容とソフトウェアに搭載されている機能及び名称が異なっている場合があります。また本書の内容は、将来予告なく変更することがあります。

【サーバー環境】

製品名	バージョン
Microsoft Windows Server	2019
MySQL	8.0.35 以降
Microsoft SQL Server	2017 以降

※EI Server のインストールには、64 ビット Microsoft Visual C++再頒布可能パッケージ のインストールが必要となります。

※システム要件の詳細は以下をご確認ください。

https://help.eset.com/ei\_deploy/2.6/en-US/?system\_requirements.html

【ESET 環境】

製品名	バージョン
ESET Inspect on-prem	2.6
ESET PROTECT on-prem	11.1 以降

※本手順書は EP on-prem V11.1 を使用して作成しています。

○ 本書内における名称は以下の通りです

略省	正式名称
EI on-prem	ESET Inspect on-prem
EI Connector	ESET Inspect Connector
EP on-prem	ESET PROTECT on-prem
EM Agent	ESET Management Agent
MSSQL	Microsoft SQL Server

<sup>○</sup> 本手順書の一部またはすべてを無断で複写、複製、改変することはその形態問わず、禁 じます。

### 2. システム要件

EI on-prem を導入するにあたり、以下の要件をすべて満たしている必要があります。

### 2.1 EI Server 要件

(1).オンプレミス型セキュリティ管理ツールは V11.1 以降が導入されている必要が あります。

(2). 規模別ハードウェア最小要件は以下をご確認ください。

https://help.eset.com/ei\_deploy/2.6/en-US/os\_settings\_windows.html?hardware\_requirements.html

(3). インストール可能なサポート OS とデータベース以下をご確認ください。

・サポートOS

https://help.eset.com/ei\_deploy/2.6/en-US/operating\_systems.html

・データベース

https://help.eset.com/ei\_deploy/2.6/en-US/database.html

### 2.2 EI Connector 要件

 (1). EI Connector を導入するクライアント端末に以下のプログラムが 導入されている必要があります。
 https://help.eset.com/ei\_deploy/2.6/en-US/web\_browsers.html
 (2).オンプレミス型セキュリティ管理ツール V11.1 以降で管理されている

必要があります。

- (3).インストール可能なサポート OS は以下をご確認ください。
   ※ESET Inspect on-prem の動作環境をご参照ください。
   https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/4926?site\_domain=business
- (4).使用上の注意事項については以下をご確認ください。

https://eset-info.canon-its.jp/files/user/pdf/manual/ei\_v26\_readme.pdf

### 2.3 導入前推奨設定

EI on-prem を導入するにあたり、以下の内容を実施することを推奨します。

- 推奨1: EI on-prem のインストール対象のサーバーには固定 IP アドレスを設定することを推奨します。
- 推奨 2: Microsoft Windows Server には最新の更新プログラムを適用することを推奨します。
- 推奨3: EI on-prem のインストール対象のサーバーには ESET Server Security for Microsoft Windows Server および EM Agent をインストールすることを推奨し ます。(インストールされていないと EI on-prem がインストールできない場合 がございます)

### 3. 導入の流れ

ESET Inspect on-prem を導入いただくにあたり、導入作業の流れは以下の通りです。 必ず「2.システム条件」をご確認いただき、導入作業の流れ、必要な情報を確認の上、導入 作業を進めるようにしてください。

4. 事前準備【EP on-prem 側作業】(P8)

- ・EI on-prem と EP on-prem を連携させるために以下の作業を実施します。
  - 4.1 高度なセキュリティの有効化
  - 4.2 証明書の作成
  - 4.3 権限設定
  - 4.4 ユーザーアカウントの作成

5. データベースのインストール【EI on-prem 側作業】(P16)

- ・MySQL8またはMSSQL Server2019のインストールを実施します。
  - 5.1 MySQL8.0 のインストール
  - 5.2 MSSQL Server2019 のインストール
- 6. EI Server のインストール【EI on-prem 側作業】(P44)
- ・EI Serverのインストール作業を実施します。
  - 6.1 EI Server のインストール
- 7. EI Agent のインストール【EP on-prem 側作業】(P58)
- ・EI on-prem ライセンスの登録および、EI Connector のインストール作業を

実施します。

- 7.1 EI on-prem ライセンスの登録
- 7.2.1 クライアントタスクによる EI Connector のイントール
- 7.2.2 オールインワンインストーラーによる一括インストール
- 8. EI Web Console の確認【EI on-prem 側作業】(P58)

・EI Web Console へのログイン確認を実施します。

- 8.1 EI Web Console の確認
- 9. EI 導入時の ESET Endpoint 製品の推奨設定 (P61)

・高度なセキュリティを保ちつつ、EI on-prem をより効果的に活用いただくために

以下の設定を推奨します。

9.1 推奨設定の実施

### 4. 事前準備【EP on-prem 側作業】

#### 4-1 高度なセキュリティの有効化

(1). https://(EP on-prem Server を導入したサーバーの IP アドレス)/era にアクセス

します。以下の画面が表示されますので、「xxx.xxx.xxx.xxx にアクセスする

(安全ではありません)」をクリックします。



#### 注意

ここでは、ESET PROTECT on-premのインストール時に作成したセキュリティ証明 書を利用しているため、管理画面アクセス時に上記の注意画面が表示されます。お使いのブラウザにより、表示内容が異なります。 (2). EP Web Console に管理者権限のあるアカウントでログインします。「日本語」選択して「EP ログインユーザー名」、「EP ログインパスワード」を入力し、「ログイン」をクリックします。

トレットン 8 エーザー名			
A //スワード			
<b>②</b> 日本語	$\bigtriangledown$		
<ul> <li>トメインユーザーとしてロクイン</li> <li>マルチタブでのセッションを有効化</li> </ul>		te Sille	
ログインパスワードの変更			
Progress B	Protected.		

(3).[詳細]->[設定]->[接続]->[高度なセキュリティ(再起動が必要)]を有効化し、[保存] をクリックします。

CSCT PROTECT ON-PRIM	(D) たんしままではない。     (D) グイックリンク マ ① ヘルブ マ ネ Administration E ログアウト     (D) 1100     (D) 110     (D) 110	
<i>ダッシュポード</i> ダッシュボード	© 0	
	コンピューター サーバーバフォーマンスステータス ウイルス対策体化 ファイアウォール体化 約打アプリケーション クラウドベース保険 十	
	(f) 🔎 入力すると検索を開始。	
	設定 ロ、カケると検索を開始	
	- 挨続	
<u>₩</u> 27-9245	サーバーボート(再起動が必要) 2222	
- ## > ゴンビューダー コンピュータユーザー	Webコンソールボート(再起動が必要) 2223	
<u>a</u>	高度なセキュリティ(再起動が必要)	0
クイセンス ② ニノセンス	証明書の発見 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	0
0		
アクセス権		
<u> </u>	➡ 詳細設定	
… / 権限セット	カスタマイズ	
筵明書		
ピア証明書		
認証局		
アクティビティ監査		
日 いたたみ 監査ログ		
65 10		
10/E		
日 開じる	保存 キャンセル	

 (4).「Windows キー」+「R」を押下、「ファイル名を指定して実行」ダイアログで、 「services.msc」と入力し、「OK」をクリックします。



(5).「ESET PROTECT Server」を選択し、[サービスの再起動]をクリックします。「ESET PROTECT Server」サービスの状態が、実行中であることを確認します。

🔍 サービス						_		×
ファイル( <u>F</u> ) 操作( <u>A</u> )	表示(⊻) ヘルプ( <u>H</u> )							
	à 📑   🛛 📰   🕨 🔲 II 🕪							
🤍 サービス (ローカル)	③ サービス (ローカル)							
	ESET PROTECT Server	名前 ^	説明	状態	スタートアップの種類	ログオン		^
		🖏 Encrypting File System (EFS)	暗号		手動 (トリガー開始)	Local S		
	サービスの声記動	🖏 Enterprise App Managemen	エンタ		手動	Local S		
	リービスの内起動	🖏 ESET El Agent	ESET	実行中	自動	Local S		
		🆏 ESET Firewall Helper		実行中	手動	Local S		
	説明:	🥋 ESET HTTP Server	ESET		手動	Netwo	c	
	ESET PROTECT Server service.	C ESET Management Agent	ECET	宝行市	白動	Local S		
		ESET PROTECT Server	ESET	実行中	自動 (遅延開始)	Netwo	c	
		SET Rogue Detection Sensor	ESET	実行中	自動	Netwo	c	
		🏟 ESET Service	ESET	実行中	自動	Local S		
		🎑 Extensible Authentication P	拡張		手動	Local S		
		🥋 Function Discovery Provider	FDR	実行中	手動	Local S		
		🥋 Function Discovery Resourc	このコ	実行中	手動 (トリガー開始)	Local S		
		🧠 Geolocation Service	このサ		無効	Local S		
		🧠 Google Chrome Elevation S			手動	Local S		
		🔍 Google Update サービス (gup	Goo		自動 (遅延開始)	Local S		
		🔍 Google Update サービス (gup	Goo		手動	Local S		
		GraphicsPerfSvc	Grap		無効	Local S		
		🍓 Group Policy Client	管理	実行中	自動 (トリガー開始)	Local S		
		🍓 Human Interface Device Ser	キーボ		手動 (トリガー開始)	Local S		
		🧠 HV ホスト サービス	ホスト		手動 (トリガー開始)	Local S		
		🍓 Hyper-V Data Exchange Ser	仮想		手動 (トリガー開始)	Local S		
		🔍 Hyper-V Guest Service Interf	仮想		手動 (トリガー開始)	Local S		~
	∖拡張 ⟨標準/							

## 4.2 証明書作成

(1). EP Web Console に再ログインします。

「日本語」を選択して、「EP ログインユーザー名」、「EP ログインパスワード」を入力し、 「ログイン」をクリックします。

ログイン		
8 ユーザー名		
白 バスワード		
③ 日本語		
<ul> <li>ドメインユーザー</li> <li>マルチタブでのセ</li> </ul>	-としてログイン マッションを有効化	
DØ4> 10	マラードの変更	

(2). [詳細]->[ピア証明書]->[新規作成]をクリックします。

Gen	PROTECT OV HIGH					(ů	P Xare	entere O	deresser 0	NUT #	ADMIN/DOID6	E	28		
-		19	ッシュボード									0	0		
<b>G</b> i =		37	-8288 435952488	3321-9-	サーバーバフォーマンス	27-92 0	(),20 <b>9</b> 81	77-(70)(-1)後日	007707-54> 993	1-1-2,82	+				
▲ = = 0		eset	PROTECT ON-PREM			ф(	<i>,</i> 0	ると検索を開始	⑦ クイックリン	~~ <mark>"</mark> (	) ヘルプ マ	R ADI	INISTRATO	R (	∃ _> 99) ∃ _> 99)
9 B		::	検出 送信されたファイル	ピア証明書	E	アクセスグル	ープ 選択	1 80-	~				⊕ ⊃	ィルタのう	800 7
0.1		G	除外	タグ	م	B84	月 ステ.	. 有效開始日	有効期限	90 1	行者 製品	件名	ホスト	ピア	181E
		A				. <del>.</del> .		2024年6月25日 0:00:00	2034年6月27日 0:00:00	(	N= Server	CN=S	•	1	はい
	-		コンピュータユーザー			U 7-		2024年6月25日 0:00:00	2034年6月27日 0:00:00	0	N= Agent	CN=A	•	1	はい
			動的グループテンプレ ート			_ <b>7</b>	J	2024年6月25日 0:00:00	2034年6月27日 0:00:00	0	N= Proxy	CN=P	•	0	はい
						U 7-		2024年6月25日 0:00:00	2034年6月27日 0:00:00	¢	N= Agent	CN=A	1	0	はい
			ライセンス ライセンス管理			ESE	π	2024年6月25日 0:00:00	2034年6月27日 0:00:00	c	N= ESET	CN=E	*.eset	0	はい
			アク <mark>リ</mark> ス樹												
			<u>а-1</u> -												
			権限1 !ット												
			EER.												
08-5	的主义者		監査ログ												
			÷			アクション		1010000 1025	取り消しを表示					K (	0106
			こ 開じる					AT DOVE TY ARE A	ACOMO EBOK						

eset	PROTECT ON-PREM		
		証明書の作成 ビア証明書 > 証明書の作成	
▲	開発	▲ 基本	說明
		▲ 署名	
	動的グループテンプレート	-עד <del>ע</del>	9 <i>1</i>
	ライセンス ライセンス管理		タグを運択
			製品 ① ESET INSPECTサーバー
	ユーザー 権限セット		▲ ホスト ⑦
			·
	<b>ビア証明書</b> 認証局		<ol> <li>パスフレーズ ⊙</li> </ol>
	監査ログ		パスワードの確認
			バスフレーズを表示
			属性(件名)
			共過名 ①
			•
	日、同じる		戻る 装行 終了 キャンセル

(3).次の通り、各セクションの設定値を入力し、[終了]をクリックします。■[基本]セクション

### ■設定値

説明	既定値のまま、または任意の値を入力してください
きたのである。	ESET Inspect サーバー
ホスト	EI on-prem サーバーの IP アドレス
	注:値に「*」を使用することはできません
パスフレーズ	既定値のまま、または任意の値を入力してください
パスワード確認	同上
共通名	EI on-prem サーバーの IP アドレス_Server 証明書
ヨコード	JP
州または都道府県	既定値のまま、または任意の値を入力してください
組織名	既定値のまま、または任意の値を入力してください
組織単位	既定値のまま、または任意の値を入力してください
有効開始日	既定値のまま、または任意の値を入力してください
有効期限	既定値のまま、または任意の値を入力してください



		•	
	検出	証明書の作成	
G		ビア証明書 > EL証明書	
A	開設		
 		基本	基本
		▲ 署名	要要方法
	動的グループテンプレート	サマリー	● 白力法
			○ カスタムpfxファイル
	ライセンス管理		▲ 認証局
			<認証問を選択>
			認証局の作成
	権限セット		
	ピア証明書		ファイルの温沢 ファイルが温沢されていません
	認証局		アップロード
	監査ログ		認証局のバスフレーズ
	管理		
			ROBELMEN VVV V TV TV TV TV TV
	回 閉じる		戻る 続行 終了 キャンセル

# ■設定値

署名方法	認証局を指定する
<認証局を選択>	既定の認証局を選択する
認証局のパスフレーズ	EP on-prem インストール時に設定したパスフレーズ
	(既定値は空欄)

### 4.3 ユーザーアカウント作成

(1).[詳細]->[ユーザー]->[新規追加]-> [新しいローカルユーザー]をクリックします。



(2).[新しいローカルユーザー]画面に、以下の通り入力します。

■[基本]セクション

ユーザー	例:EI_SERVER
ホームグループ	任意の静的グループを指定
パスワード	8文字以上の任意のパスワード
パスワード確認	再入力
アカウント	有効
パスワード変更が必要	無効
自動ログアウト	既定値または任意の値
氏名	既定値または任意の値
メールアドレス	既定値または任意の値
電話番号	既定値または任意の値

## ■[権限]セクション

EP on-prem に用意されている定義済み権限セット「ESET Inspect Server 権限セット」 を指定します。

ese	PROTECT ON-PREM				🏟 🔎 入力すると検索を開始	⑦ <sup>1</sup> クイックリンク マ	◎ ヘルプ マ	A ADMINISTRATOR	E <sup>ログアウト</sup> → 937
<b></b>		新しいローカルユーザー ユーザー > ELSERVER							
	<ul> <li>単</li> <li>コンピューター</li> <li>コンピューター</li> <li>コンピューター</li> <li>サンプリンプレート</li> <li>サイセンス専進</li> <li>ファクセス</li> <li>ユージー</li> <li>ユージー</li> <li>スージー</li> <li>スージー</li> <li>アの子・ビラィゼ島</li> <li>2回</li> <li>アクライ・ビラィゼ島</li> <li>2回</li> <li>アクライ・ビラィゼ島</li> <li>2回</li> <li>アクライ・ビラィゼ島</li> <li>2回</li> <li>アクライ・ビラィゼ島</li> <li>2回</li> <li>アクライ・ビラィゼ島</li> <li>2回</li> <li>2回</li> <li>アクライ・ビラィゼ島</li> <li>2回</li> <li>2回</li> <li>アクライ・ビラィゼ島</li> <li>2回</li> <li>2回</li></ul>	基本 補償セット サマリー	<ul> <li>御宿セットをネイティブユーザーにま</li> <li>「べて高お</li> <li>シレッキのためののののののののののののののののののののののののののののののののののの</li></ul>	89期でてください: マ マ マ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ	ネイティブユーザー 'ELSERVER'に割り当てら A EST INSPECT Server機能セット	れました			
			展る 統行 終了	キャンセル					

(3).[終了]をクリックします。

### 5. データベースのインストール【EI on-prem 側作業】

利用可能なデータベースは、MySQLか MSSQL Sever のいずれかとなります。 MySQLを利用する場合は「5.1 MySQL8 のインストール」を、MSSQL Sever を利用する 場合は「5.2 MSSQL Server2019 のインストール」を実施してください。

5.1 MySQL8 のインストール

MySQL8 を利用する場合は以下の手順を実施後、「6.EI サーバーのインストール」を 行ってください。

※インストールするバージョンによっては画面が異なる場合がありますので、その場合 は読み替えて実施ください。

(1). MySQLを導入するサーバーに「Microsoft Visual C++ 2015-2022 redistributable Package(x64)」がインストールされていない場合は、以下 URL よりダウンロード、 およびインストールを完了させます。 https://learn.microsoft.com/ja-jp/cpp/windows/latest-supported-vc-

redist?view=msvc-170

(2).以下 URL より、MySQL のインストーラー(mysql-installer-community-8.0.xx.msi)をダウンロード、およびインストールを開始します。

https://dev.mysql.com/downloads/windows/installer/8.0.html

(3). Choosing a Setup Type 画面で[Server Only]を選択し[Next]をクリックします。



16 / 63

(4). Installation 画面で[Product]が MySQL Sever が対応しているバージョンであること、
 Status 欄が「Ready to Install」であることを確認し[Execute]をクリックします。

SQL Installer			-	□ ×
MySQL. Installer Adding Community	Installation The following products will be installe	⊧d.		
Choosing a Setup Type	Product MySQL Server 8.0.36	Arch Statu X64 Ready to	s Progress Install	Note
Installation				
Product Configuration				
Installation Complete				
	<			>
	Click [Execute] to install the following	j packages.		
		< Back	Execute	Cancel

(5). Installation 画面で[Product]が MySQL Sever が対応しているバージョンであること、
 Status 欄が「Complete」 であることを確認し[Next]をクリックします。

MySQL Installer				-	
MySQL. Installer Adding Community	Installation The following products will be install	ed.			
	Product	Arch	Status	Progress	Note
Choosing a Setup Type	🖉 📐 MySQL Server 8.0.36	X64	Complete		
Installation					
Product Configuration					
Installation Complete					
	<				>
	Show Details >				-
		<	Back N	ext >	Cancel

(6). Product Configuration 画面で Status 欄が「Ready to configure」と表示されたら、[Next]をクリックします。

SQL Installer		- 🗆 X
MySQL. Installer Adding Community	Product Configuration	on wizard for each of the following products.
Choosing a Setup Type	You can cancel at any point if you wis products.	to leave this wizard without configuring all the
Product Configuration	MySQL Server 8.0.36	Ready to configure
Installation Complete		
	<	Next > Cancel

(7). Type and Networking 画面で Config Type に[Server Computer]を選択します。その他は既定値のまま[Next]をクリックします。

MySQL Installer	- D X
MySQL Server 8.0.36	Type and Networking Server Configuration Type Choose the correct server configuration type for this MySQL Server installation. This setting will
Type and Networking	Config Type: Server Computer
Authentication Method	Connectivity
Accounts and Roles	Use the following controls to select how you would like to connect to this server.
Windows Service	TCP/IP Port: 3306 X Protocol Port: 33060 Open Windows Firewall ports for network access
Server File Permissions	Named Pipe Name: MYSQL
Apply Configuration	Shared Memory Memory Name: MYSQL
	Advanced Configuration Select the check box below to get additional configuration pages where you can set advanced and logging options for this server instance. Show Advanced and Logging Options
	Nexts

# (8). Authentication Method 画面が表示されます。[Use Legacy Authentication Method (Retain MySQL 5.x Compatibility)]を選択し、[Next]をクリックします。



# (9). Accounts and Roles 画面で、MySQL が使用する root パスワードを設定し、続いて [Add User]をクリックします。

NySQL Installer		– 🗆 X
MySQL. Installer MySQL Server 8.0.36	Accounts and Ro Root Account Password Enter the password for the	Dles 2 root account. Please remember to store this password in a secure
Type and Networking Authentication Method	MySQL Root Password: Repeat Password:	
Accounts and Roles		Password strength: Strong
Windows Service Server File Permissions Apply Configuration	MySQL User Accounts Create MySQL user accou consists of a set of priviled	unts for your users and applications. Assign a role to the user that eges.
	MySQL User Name	e Host User Role Add User
	PI	MySQL User Account × lease specify the user name, password, and database role. User Name: Host: <all (%)="" hosts=""></all>
		Bole: DB Admin
		Authentication:  MySQL MySQL user credentials Password: Confirm Password: Password strength: Max
		<u>O</u> K <u>C</u> ancel

### MySQL User Account ダイアログで、以下の通り入力します。

User Name	(任意のユーザー名を入力)
Host	<all (%)="" hosts=""></all>
Role	DB Admin
Authentication	MySQL
Password	(任意のパスワードを入力)
Confirm Password	(上記と同一のパスワードを入力)

※本項番で入力した MySQL ユーザーアカウントとパスワードをメモしてください。 MySQL ユーザーアカウントとパスワードは項番 6-1 (7)で使用します。 (10).Accounts and Roles ダイアログに戻るので、[Next]をクリックします。(11).Windows Service 画面は既定値のまま、[Next]をクリックします。

NySQL Installer	– 🗆 X
MySQL. Installer MySQL Server 8.0.36	Windows Service
Type and Networking Authentication Method Accounts and Roles	Windows Service Details         Please specify a Windows Service name to be used for this MySQL Server instance.         A unique name is required for each instance.         Windows Service Name:       MySQL80         Image: Start the MySQL Server at System Startup
Windows Service Server File Permissions Apply Configuration	Run Windows Service as         The MySQL Server needs to run under a given user account. Based on the security requirements of your system you need to pick one of the options below. <ul> <li>Standard System Account</li> <li>Recommended for most scenarios.</li> <li>Custom User</li> <li>An existing user account can be selected for advanced scenarios.</li> </ul>
	< Back Next > Cancel

# (12).Server File Permissions 画面で[Next]をクリックします。

MySQL Installer	
MySQL. Installer MySQL Server 8.0.36	Server File Permissions MySQL Installer can secure the server's data directory by updating the permissions of files and folders located at:
Type and Networking	C\ProgramData\MySQL\MySQL Server 8.0\Data Do you want MySQL Installer to update the server file permissions for you?
Accounts and Roles	Ves, grant full access to the user running the Windows Service (if applicable) and the administrators group only. Other users and groups will not have access.
Windows Service	<ul> <li>Yes, but let me review and configure the level of access.</li> <li>No. L will mapage the permissions after the server configuration.</li> </ul>
Apply Configuration	
	< Back Next > Cancel

# (13).Apply Configuration 画面で[Execute]をクリックします。 進捗が表示されるので

MySQL. Installer MySQL Server 8.0.36       Apply Configuration Click [Execute] to apply the changes         Type and Networking
Type and Networking       Writing configuration file         Authentication Method       Updating Windows Firewall rules         Authentication Method       Adjusting Windows service         Accounts and Roles       Initializing database (may take a long time)         Windows Service       Updating permissions for the data folder and related server files         Server File Permissions       Starting the server         Apply Configuration       Creating user accounts

## (14).Apply Configuration 画面で、[Finish]をクリックします。



(15).Product Configuration 画面で Configuration complete の表示を確認し、[Next]を クリックします。

MySQL Installer		– 🗆 X
MySQL. Installer Adding Community	Product Configuration	unional for each of the following and date
Choosing a Setup Type	You can cancel at any point if you wish products.	to leave this wizard without configuring all the
Installation	Product	Status
Product Configuration	MySQL Server 8.0.36	Configuration complete.
Installation Complete	<	•
		Next > Cancel

## (16).Installation Complete 画面で[Finish]をクリックしインストーラーを終了します。

SQL Installer	- 0	×
MySQL. Installer Adding Community	Installation Complete	
	The installation procedure has been completed.	
Choosing a Setup Type	Copy Log to Clipboard	
Installation		
Product Configuration		
Installation Complete		
	Finist	h

(17).C:¥ProgramData¥MySQL¥MySQL Server (バージョン番号)¥my.ini をテキストエ ディタで開きます。

※「ProgramData」は隠しフォルダのため、「表示」タブより「隠しファイル」にチェ ックをして表示させてください。

📜   🗹 📜 🖛   MySQ	L Server 8.0			-		×
ファイル ホーム 共	有 表示					~ 🕐
← → ~ ↑ 🖡 ›	PC > ローカル ディスク (C:) > ProgramData > MySQL > N	NySQL Server 8.0 > √ Č	MySQL Server	8.0の検索	1	Q
🚁 クイック アクセス	名前	更新日時	種類	サイス	(	
= デスクトップ	Data	2023/04/06 14:21	ファイル フォルダー			
	Uploads	2023/04/06 14:21	ファイル フォルダー			. 1/15
	installer_config.xml	2023/04/06 14:21	XML トギュメント			1 KB
■ ピクチャ	r ⊛i myini ≉	2023/04/06 14:21	構成設定			16 KB
🧢 PC						
🕩 ネットワーク						
4 個の項目						

(18).my.ini ファイル内の以下の設定項目の記述を以下のように変更します。存在しない設 定値は追記してください。また、my.ini ファイルを編集する際、使用するテキストエデ ィタは Windows のメモ帳以外のエディタを使用します。

※環境により以下の項目がない場合がありますので、状況に応じて追記してください。



[my.ini]ファイル

\*\*\* INNODB Specific options \*\*\*

slow-query-log=0 ※必要に応じて設定変更ください

innodb\_buffer\_pool\_size= (※1)

innodb\_flush\_log\_at\_trx\_commit=0

```
innodb_log_file_size= (%2)
```

open\_files\_limit=30000

innodb\_redo\_log\_capacity=(%3)

\*\*\*\*\* Group Replication Related \*\*\*\*\*

lower\_case\_table\_names=1

max\_connections=300

\*デフォルトでは以下設定項目の記載が無いため、[mysqld]セクションの最終行に値を 追記します。

event\_scheduler=ON

log\_bin\_trust\_function\_creators=1

thread\_stack=256K

local\_infile=1

disable-log-bin

wait\_timeout=900

- (※1) MySQL をインストールしたサーバーの搭載 RAM の 80%を設定します。例えば 16GB の RAM を搭載するサーバーでは 12G を指定します。最小値は 1G、
   整数で指定します。
- (※2) innodb\_buffer\_pool\_size(※1) に指定した値の 50%(小数点以下切捨て) を指定します。

(※3) innodb\_buffer\_pool\_size (※1) に指定した値を指定します。

設定値の詳細は以下をご確認ください。

https://help.eset.com/ei\_deploy/2.6/en-US/?mysql\_installation.html

(18). my.ini を保存してテキストエディタを閉じます。

「Windows キー」+「R」を押下、「ファイル名を指定して実行」ダイアログで、

「services.msc」と入力し、「OK」をクリックします。

ריד 💷 🌆	ル名を指定して実行	$\times$
	実行するプログラム名、または開くフォルダーやドキュメント名、イン: ネットリソース名を入力してください。	9-
名前( <u>O</u> )	: services.msc	~
	OK キャンセル 参照( <u>B</u> ).	

(19). MySQL80 を選択し、[サービスの再起動]をクリックします。

MySQL80 サービスの状態が、起動中であることを確認します。

4 サービス						<u> </u>	×
ファイル( <u>F</u> ) 操作( <u>A</u> )	表示(⊻) ヘルプ( <u>H</u> )						
(	2 🗟 🛛 🛐 🕨 🔲 🚺 🕨						
🥋 サービス (ローカル)	○ サービス (ローカル)						
	MySQL80	名前 ^	説明	状態	スタートアップの種類	ログオン	^
		Microsoft (R) 診断八ブ標準コ Microsoft Account Sign-in	診断 ユーザ		手動 手動 (トリガー開始)	Local S Local S	
	サービスの再起動	Microsoft App-V Client Microsoft iSCSI Initiator Ser	Man このコ		無効 手動	Local S Local S	
		Microsoft Passport	ユーザ		手動(トリガー開始)	Local S	
		Microsoft Passport Container	ID フ ボリュ		手動(トリカー開始) 手動	Local S Local S	
		MySQL80		実行中	自動	Networ	
		Netlogon	neut ユーザ		手動	Local S	
		Network Connection Broker     Network Connections     Network Connectivity Assist	Wind ネット	実行中	手動 (トリガー開始) 手動 手動 (トリガー開始)	Local S Local S	

※MySQL サービスが正常に再起動しない場合は、my.iniの記述が正しいか確認 してください。

5.2 MSSQL Server2019 のインストール

# MSSQL Sever2019 Standard エディション、または Enterprise エディションを利 用する場合は以下の手順を実施後、「6.EI サーバーのインストール」を行ってください。

- (1). EI Sever を導入するサーバーに「Microsoft Visual C++ 2015 redistributable Package(x64)」インストールされていない場合は、以下 URL よりダウンロードし インストールします。
   https://learn.microsoft.com/ja-jp/cpp/windows/latest-supported-vcredist?view=msvc-170
- (2). 任意の場所に MSSQL Server のインストーラー"setup.exe"を配置し実行します。
- (3). 「インストールの種類を選びます」で「カスタム」を選択しインストールを実行しま す。
- (4). 「SQL Server インストールセンター」画面が表示されたら、左メニューより「イン ストール」をクリックします。



# (6). 「SQL Sever の新規スタンドアロンインストールを実行するか、既存のインストー ルに機能を追加」をクリックします。



# (7).「プロダクトキーを入力する(E)」にチェックを入れ、プロダクトキーを入力して 「次へ」クリックします。

🃸 SQL Server 2019 セットアップ				×
<b>プロダクト キー</b> インストールする SQL Server 2019	9のエディションを指定します。			
プロダクトキー ライセンス条項 グローバルルール Microsoft Update 製品の更新プログラム セットアップ File のインストール インストールルール 機能の選択 機能ルール 機能構成ルール インストールの準備完了 インストールの進行状況 完了	Microsoft Certificate of Authenticity または製品パッケージに記載されている 25 文 2019 のこのインスタンスを検証してください。または、SQL Server の無償のエデイション Express) を指定することもできます。SQL Server オンライン ブックに記載されているよう の機能が最も多く含まれており、180 日間の有効期限付きでアクライブ化されます。D 限がなく、含まれる機能は Evaluation と同じですが、実用環境でのデータパースア センスが付与されます。インストールされているエディションから別のエディションにアップグ レード ウィザードを実行してください。	に字のキーを入力し (Developer, Eva りに、Evaluation eveloper エディシ リケーション開発 レードするには、エ	JT、SQL S Iluation、 には SQL S rョンには有 目的に限 ディション ア	ierver 効期 リライ リップグ
	< 戻る(B)	次へ(N) >	キャンセ	

## (8). ライセンス条項に同意します」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。

髋 SQL Server 2019 セットアップ		-		$\times$
<b>ライセンス条項</b> SQL Server 2019 をインストール	するには、マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項に同意する必要があります。			
プロダクトキー <b>ライセンス条項</b> グローバルルール Microsoft Update 製品の更新プログラム セットアップ File のインストール インストールルール 機能の選択 機能ルール 機能構成ルール インストールの準備完了 インストールの進行状況	マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項 MICROSOFT SQL SERVER 2019 STANDARD 本ライセンス条項は、お客様と Microsoft Corporation (または系列会社の中の を構成します。本ライセンス条項は、上記のソフトウェアおよびソフトウェアが記録 (以下総称して「本ソフトウェア」といいます) に適用されます。この条項は、マイク ビスまたはソフトウェア更新プログラムに適用されます。ただし、これらのサービフ ログラムに新しい条項または追加条項が付属している場合は、当該別途の条項 かって適用され、更新前のソフトウェアまたはサービスに関するお客様またはマ・ 利は変更されません)。お客様が本ライセンス条項を遵守することを条件とし は、適切なライセンスを取得した各サーバーについて以下が許諾されます	1 社) はわた ロンフト れたに お 将 オ クロン <b>あ</b> コピー(1 - (1)	との契約 -メディア - のサデ マレー フトの 神 マトの キ マトの エ ( の) の 印 の の の の の の ジ の ジ で の サ ー ジ ディア ー ジ ディア ー ジ ディア ー ジ ディア ー ジ ディア ー マ ラ マ ジ ディア ー マ ラ い デ マ ア ー マ ラ い デ ー の サ ー フ ト の サ ー フ ト の サ ー フ ト の サ ー フ ト の サ ー フ ト の サ ー フ ト の サ ー フ ト の サ ー フ ト の わ ー の わ キ ー の ち の わ ー の ち の わ の ち の ち の ち の わ の う ト の ち の ち の う ト の ち の う ト の う ト の う ト の う ト の う 日 の ろ の ち の の の の の の の ろ の の ろ の の ろ の の ろ の の ろ の の ろ の の の ろ の の の の の の の の ろ の の ろ の の ろ の の ろ の の の の の の つ の の の の	
元 /	<ul> <li>              → ライセンス条項と次に同意します(A): <u>プライパシーに関する声明</u>             注意: 有料の SQL Server エディションのプロダクト キーが現在のアクションのために指定されました             SQL Server エディションの使用権があり、指定されたプロダクト キー (エディション) 用の適切なライ             とをご確認ください。               SQL Server では、製品の品質向上を目的として、インストール操作に関する情報と、他の使用状             のデータを Microsoft に送信します。データ処理とプライバシー管理に関する詳細と、インストール後             かにする方法については、<u>ドキュメント</u>をご覧ください。      </li> </ul>	- Stand センスを 記および にこの信	dard。この 取得してい びパフォーマ 専報の収身	) いるこ マンス 長を無
	< 戻る(B) 次へ(N) >		キャンセノ	V

(9). 「Microsoft Update を利用して更新プログラムを確認する」にチェックを入れ、「次

### へ」をクリックします。

馪 SQL Server 2019 セットアップ				$\times$
Microsoft Update Microsoft Update を使用して重	要な更新プログラムを確認する			
プロダクトキー ライセンス楽項 グローバルルール Microsoft Update 製品の更新プログラム セットアップ File のインストール インストールルール 機能の選択 機能ルール 株能構成ルール インストールの準備完了 インストールの進行状況 完了	Microsoft Update は、Windows と SQL Server 2019 を含むほかの Microsoft ソ ログラムや他の重要な更新プログラムを提供します。更新プログラムは、自動更新を使 Update Web サイトにアクセスして取得することができます。 ☑ Microsoft Update を使用して更新プログラムを確認する (推奨)(M) <u>Microsoft Update のプライパシーに関する原明</u> Microsoft Update のプライパシーに関する原明	フトウェアのセ 用するか、M	キュリティ更 icrosoft	新ブ
	< 戻る(8) 次	^(N) >	キャンセ	μ 

# (10). 「機能選択」画面にて、「データベースエンジンサービス」と「SQL クライアント 接続 SDK」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。

SQL Server 2019 ゼットアップ 機能の選択 インストールする Evaluation	機能を選択します。			×
インストール ルール 機能の選択 機能ルール	<ul> <li>Reporting Services をお探し</li> <li>機能(F):</li> </ul>	ですか? <u>Web からダウン</u> び	<u>コードする</u> 機能の説明:	
サーバーの機成 データベースエンジンの構成 機能構成ルール		× v ices および言語の拡張	SQL Server インスタンスのインスタンス機能は、 成と操作が、他の SQL Server インスタンスとは 離されています。SQL Server の複数のインスタ 選択した機能に必要なコンポーネント(P):	<b>機 ^</b> 分 >
インストールの準備完了 インストールの進行状況 完了	☐ Python ☐ Java ☐ 検索のためのフルテキスト ☐ Data Quality Services	由出とセマンティック抽出	インストール済み: 	<b>`</b>
	○ 外部データ用 PolyBase ク □ HDFS データ ソースの <	7エリサービス Java コネクタ ・ ・	ドライブ C: 1003 MB 必要、46652 MB 使用可	能 ^ ~
	インスタンス ルート ディレクトリ(R):	C:¥Program Files¥N	ficrosoft SQL Server¥	
	共有機能ディレクトリ(S):	C:¥Program Files¥N	ficrosoft SQL Server¥	
	共有機能ディレクトリ (x86)(X):	C:¥Program Files (x	86)¥Microsoft SQL Server¥ .	

# (11). 「インスタンスの構成」画面にて既定値のまま「次へ」をクリックします。

髋 SQL Server 2019 セットアップ		-		×
インスタンスの構成 SQL Serverインスタンスの名1	およびインスタンス ID を指定します。 インスタンス ID は、 インストール	ノバスの一部になります。		
インストール ルール 機能の選択 機能ルール	<ul> <li>● 既定のインスタンス(D)</li> <li>○ 名前付きインスタンス(A): MSSQLSERVER</li> </ul>			
インスタンスの構成 サーバーの構成 データベース エンジンの構成 機能構成ルール	インスタンス ID(I): MSSQLSERVER			
インストールの準備完了 インストールの進行状況 完了	SQL Serverディレクトリ: C:¥Program Files¥Microsoft インストール済みのインスタンス(L):	: SQL Server¥MSSQL15.MSSQLSERV	ER	
	インスタンス名 インスタンス ID 機能	エディション	バージョン	_
		< 戻る(B) 次へ(N) >	キャンセ	UV

# (12). 「サーバーの構成」画面にて既定値のまま「次へ」をクリックします。

🃸 SQL Server 2019 セットアップ						×
<b>サーバーの構成</b> サービス アカウントと照合順序の	構成を指定します。					
インストール ルール 機能の選択	サービス アカウント 照合順序 各 SOL Server サービスに別々のアオ	カウントを使用する.7とをお勧めしま	₫(M)			
機能ルール インスタンスの構成	+	アカウント名	パスワード	79-1	アップの種	頬
サーバーの構成	SQL Server エージェント	NT Service¥SQLSERVER		手動		~
データベースエンジンの構成	SQL Server データベース エンジン	NT Service¥MSSQLSERV		自動		~
機能構成ルール	SQL Server Browser	NT AUTHORITY¥LOCAL		無効		~
完了	この特権は、テータベージの領域 り削除されたコンテンツにアクセス 詳細はこちらをクリック	の弊政を回避することによってファイ を許可するため、情報の開示につ:	ルの晦時初期化 ながる可能性がま	とを有効にしま らります。	3, 2nc	¢
		< 戻る	5(B) 次/	\(N) >	キャンセ	2.]]

# (13). 「データベースエンジンの構成」画面にて、「混合モード」を選択、sa パスワード を設定、「現在のユーザーを追加」をクリックし、「次へ」をクリックします。

髋 SQL Server 2019 セットアップ	- 🗆 X
データベース エンジンの構成 データベース エンジンの認証セキュリテ の設定を指定します。	; iイモード、管理者、データ ディレクトリ、TempDB、並列処理の最大限度、メモリの制限、Filestream
インストール ルール 機能の選択 機能ルール インスタンスの構成 サーバーの構成 データイース エンジンの構成 機能構成ルール インストールの準備完了 インストールの進行状況 完了	サーバーの構成       データディレクトリ       TempDB       MaxDOP       メモリ       FILESTREAM         データベース       エンジンの認証モードおよび管理者を指定します。       認証モード          〇       拠合モード           〇       混合モード (SQL Server 認証と Windows 認証)(M)           SQL Server のシステム管理者 (sa) アカウントのパスワードを指定します。           パスワードの入力(E):       ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
	第二       SQL Server の管理者には、データベースエンジンに対する無制限のアクセス 権がちります。         現在のユーザーの追加(C)       追加(A)         単除(R)       次へ(N) > キャンセル

## (14). 「インストールの準備完了」画面にて、「インストール」をクリックします。

籠 SQL Server 2019 セットアップ				×
<b>インストールの準備完了</b> インストールされる SQL Server 2	019 の機能を確認します。			
インストール ルール 機能の選択 機能ルール インスタンスの様成 サーバーの構成 データベース エンジンの機成 機能構成ルール インストールの準備完了 インストールの進行状況 完了	SQL Server 2019 をインストールする準備完了:         ・ 振要         - エデイション: Install (製品の更新プログラム)         D・必要なコンポーネント         ローインストール済み:         - Windows PowerShell 3.0 or higher         - Microsoft Visual C++ 2017 再頒布可能パッケージ         D・登録構成         ローサンスクシスーム エンジン サービス         - SQL クライアント接続 SDK         ローインスタンスの構成         ローインスタンスの構成         ローインスタンスの構成         ローインスタンスの構成         ローインスタンスの構成         ローンスタンスの構成         ローンスタンスの構成         ローンスタンスの構成         ローンスタンスの構成         ローンスタンスの構成         ローンスタンスの構成         ローンスタンスの         ローンスタンスの         ローンスタンスの         ロートンスタンス ID         L SQL データベース エンジン: MSSQL15.MSSQLSERVER         ローンスタンス ID         L 共有コンボーネント ルート ディレクトリ            増成のファイルのパス:	nfinura	stonFile	> >
	< 戻る(B) インストール	/(I)	キャンセ	2.14

# (15). 「完了」画面にて、状態が全て成功であることを確認して「閉じる」クリックし

髋 SQL Server 2019 セットアップ			-		×
完了					
SQL Server 2019 のインストールカ	『正常に完了しました (製品の更新プログラムる	(含む)。			
インストール ルール 機能の選択	セットアップ操作または実行可能な次の手	順に関する情報(I):			
機能ルール	機能	状態			^
インスタンスの構成	🧭 データベース エンジン サービス	成功			
サーバーの進动	SQL Browser	成功			
	SQL 519-	成功			
テーダハースエンシンの構成	SQL クライアント接続 SDK	成功			
機能構成ルール	SQL クライアント接続	成功			~
インストールの準備完了	V TANPAT TIMEN FILE	nv +1			
インストールの進行状況					
完了	詳細(D):				
	インストールが完了しました。				
	概要ログ ファイルの保存先:	V450V5 -			
	CEPProgram Files#Microsoft SQL Serve	(#150#Setup Bootstrap#Log#20220311_1158	soz#Sumi	mary WIN	<u>4-</u>
				閉じる	5

(16). スタートメニューより、「SQL Server 2019 構成マネージャー※」を開きます。
 左メニューの「SQL Sever ネットワーク構成」->「MSSQLSERVER のプロトコル」を
 クリックします。

※アプリケーション名はインストールしたデータベースの情報に読み替えてください。



- (17). 右メニューの「TCP/IP」を右クリックし、コンテキストメニューより「有効化」を
  - 選択します。

🖀 Sql Server Configuration Manager			-	$\times$
ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)				
🗢 🔿 🖄 🖾 📾				
1 SQL Server 構成マネージャー (ローカル)	プロトコル名	状態		
■ SQL Serverのサービス ■ SQL Server カットワーク構成 (32 ビット)	2 共有メモリ	有効		
> 曼 SQL Native Client 11.0 の構成 (32 ビット)				
✓ 見 SQL Server ネットワークの構成 日 MSSQL SERVER のゴロトコル		有 劾化(E)		
> 曼 SQL Native Client 11.0 の構成		無約1C(I)		
-		プロパティ(R)		
		ヘルプ(H)		

# (18). 左メニューの「SQL Server のサービス」をクリックし、右メニューの「SQL Server (MSSQLSERVER)」を右クリックし、「再起動」を実行します。



6. EI Server のインストール【EI on-prem 側作業】

### 6.1 EI Server のインストール

- (1). EI Server の導入対象が Windows Server 2012 R2 の場合は、「April 2014 update rollup(KB2919355)」をインストールします。
- (2).EI Server のインストーラー(ei\_server\_nt64.msi)を使用し、インストールを開始し ます。
- (3). [次へ]をクリックしてインストールウィザードを進めます。エンドユーザーライセンス 契約画面では、[ライセンス契約の条件に同意します(A)]にチェックを入れます。

# ESET Inspect Server セットアップ – □	$\times$
エンドユーザーライセンス契約 以下のライセンス契約条項を注意してお読みください	2 2
2024年1月31日より有効	^
重要:ダウンロード、インストール、コピー、または使用の前 に、製品利用に関する下記契約条件を注意してお読みくださ い。本製品をダウンロード、インストール、コピー、または 使用することにとり、た客様はこれらの条件に対する同意す	
使用することにより、お各様はこれらの条件に対する问意を ま 用! プライバシーポリシーに同音」たことにかります <sup>™</sup> ☑ ライセンス契約の条件に同意します(A)	~
<u>プライバシーポリシー</u> 印刷(P) 戻る(B) 次へ(N) キャンセ	94

(4).製品改善プログラム画面の[製品改善プログラムへの参加]のチェックは任意です。

※ EI on-prem の機能は、本項目にチェックを入れなくても利用できます。



(5). インストール先フォルダー画面で、任意のインストール先を指定します。

Je ESET INSPECT Server セットアップ ー		×
インストール先フォルダー 既定のフォルダーにインストールするにはをクリックし、別のフォルダーを選択する。	制酸	
ESET INSPECT Server のインストール先:		
C:¥Program Files¥ESET¥Inspect Server¥ 変更(C)		]
戻る(8) 次へ(N)	キャンも	211

(6). サーバー接続画面で、Web Console および Agent の接続ポート情報を入力します。

<b>婦</b> ESET INSPECT Server 設定	- 🗆 X
<b>サーバー接続</b> Webコンソールとサーバーのポートを入力してください	
WebコンソールHTTPSポート: WebコンソールHTTPポート: コネクターポート: 公開ホスト名:	443 80 8093
戻る	i(B) 次へ(N) キャンセル

(7).データベース接続画面で、データベースの接続情報を入力します。

 以下は MySQL を利用した場合の設定値となります。データベースアカウントの ユーザー名は項番 5-1(9)で作成したユーザー情報を入力します。

🔀 ESET INSPECT Server 設定		X
データベース接続 データベース設定を入力します		MySQL Sever を プルダウンメニューから選択する
データベース: データベース名: ホスト名: ポート :	MySQL Serve eidb localhost 3306	er
データベースアカウント ユーザー名: パスワード:	「 「 戻る(B)	ジネへ(M) キャンセル

 ② 以下は MSSQL を利用した場合の設定値となります。データベースアカウントの ユーザー名は項番 5-2(13)で作成したユーザー情報を入力します。

# ESET INSPECT Server 铅定	
「 <b>データベース接続</b> データベース設定を入力します	MS SQL Sever を プルダウンメニューから選択する
データベース: データベース名: ホスト名: ポート: 名前つきインスタンスの使用: ODBCドライバ: データベースアカウント ユーザー名: パスワード:	MS SQL Server
	戻る(B) 次へ(N) キャンセル

(8). ESET Inspect 使用画面で、プロファイルベースの設定を行います。 本手順で選択した項目により、後続のデフォルトの選択値が変わります。

BSET INSPECT Server Setup	_		×
ESET INSPECT 使用	1 2222		
ESET INSPECTを設定するには、自分に最も当てはまるユーザーのタイプを ーズに合わせて最適化されたさまざまな設定が事前に選択されます。	i選択し	ಕರ. 2ಗಿದ	こより、 ニ
○EDR専用リソースを備えたセキュリティオペレーションセンター			
●EDRにある程度時間を割いているセキュリティ中心のITチーム			
○時間が限られたⅢ管理者			
ESET INSPECTの使用の詳細情報			
個別の設定は次の手順でカスタマイズできます。製品上でいつでもカスタ	マイズて	ごきます。	
戻る(B) 次へ(	N)	キャン	セル

(9).検出ルール画面で、4つの重大度レベルに基づいて有効にするルールを選択します。本 手順で選択した内容により、EI インストール後に既定で有効になるルールが変わりま

す。	
t,	ESET INSPECT Server Setup - 🗆 🗙
	検出ルール
ſ	インストール後に有効にする新しいESET INSPECT検出ルールを選択します。
	○重大度:脅威、警告、および情報(セキュリティオペレーションセンターに推奨)
	● 重大度:脅威と警告(セキュリティ中心のITチームに推奨)
	○重大度:脅威(IT管理者に推奨、脅威の可能性が高いもののみを表示)
	○すべての検出ルールを無効にする(非推奨)
	ルールと重大度に関する詳細情報
	有効にする重大度が高いほど、製品は脅威に対してより敏感に反応します。また、より多くの 検出が生成されます。
	ルールは、製品の「管理 > 検出ルール」セクションでいつでも有効または無効にできます。
	戻る(B) 次へ(N) キャンセル

(10). データ収集画面では、EI でのデータ収集オプションを設定します。

本手順で選択した内容により、データがデータベースに保存される方法を 設定します。

EI on-prem で表示されるプロセスツリーの情報量に影響します。

ĵ	ESET INSPECT Server Setup	-		×
	データ収集		制限	
	エンドポイントから収集してデータベースに格納するデータの量を選択しま	す。		
	<ul> <li>○ すべての利用可能なデータを保存します。これにより、非常に大きなラ れ、製品によって不審なものとして識別されなかったデータを遡及的に</li> <li>● 最も重要なデータを保存します。これにより、プロセスに関連するすべご れますが、下位レベルのイベントの収集は不審なイベントに制限され。</li> <li>○ 検出に直接関連するデータのみを保存します。これは、検出以外の調 でない場合に、推奨されます。</li> </ul>	データべで 「調査で てのデー ます。 詳細な調	ースが作成。 きます。 タが保存さ 間査が必要	¥.
	<u>保存されたデータの詳細情報</u> この設定は、製品の「管理 > サーバーの設定」セクションでいつでも変更	できます	t.	
	戻る(B) 次へ(	N)	キャン	セル

(11). データ保持画面では、EI on-prem でのデータの保持期間を選択します。
 本手順では、検出データや下位レベルデータの保持期間を設定します。
 ※本設定は EI インストール後にも設定変更が可能です。

Ú	ESET INSPECT Server Setup	—		×
	データ保持			
	データベースでデータを保存する期間を選択します。期間 れるまでのデータベースは大きくなります。	が長いほど、古いデータがパー	ジさ	
	次の検出を保存します:	3ヶ月	$\sim$	
	次の下位レベルデータを保存しま す:	1週間	$\sim$	
	下位レベルのデータはデータベースサイズの大部分を占め する必要があります。削除すると、製品によって不審なもの 細な調査のみが制限されます。	るため、保存期間をできるだけ として識別されなかったデータ	短く の詳	
	<u>保存されたデータの詳細情報</u>			
	この設定は、設品の「管理 >サーハーの設定」セクション(	いつじも変更じきます。		
	戻る(B)	) 次へ(N) キ	ャンセル	,

## (12). ESET PROTECT 設定画面で、EP on-prem の接続情報を入力します。

记 ESET INSPECT Server 設定	– 🗆 X
<b>ESET PROTECT設定</b> ESET PROTECTとの接続に使用する設定を入:	カします
ESET PROTECTへのデータ接続 ESET PROTECTホストアドレス ESET PROTECTデータ接続用ポート: ESET PROTECTユーザー: ESET PROTECTパスワード:	2223 Administrator
<b>ESET PROTECTWebコンソールへの接続</b> 使用したプロトコル: ESET PROTECTWebコンソールポート:	Онттр <b>⊚</b> нттрs  443
	戻る(B) 次へ(N) キャンセル

(13). 接続先 ESET PROTECT ダイアログが表示されますので、 [はい] を選択します。

接続先ESET PROTECT	×
サーバーの接続証明書の詳細を受信しました:	
住名: Ass, A 後期 13 9 4 年 発行者: CN=: Ass, A 4 美国 19 9 年 フィンカーフリント: Ass, A 4 美国 19 1	CHERNMANNAN MANYA CHERNMANNAN MARYA MARTINGCHERNMANNAN MANYA
このサーバーからの認証局ファイルを許可します	か?
	はい(Y) いいえ(N)

 (14). サーバー証明書画面で、EI Server と EI Connector 間の接続に使用する証明書の取 得方法を選択します。ここでは既定の [ESET PROTECT から証明書を取得する] を 選択し、[次へ]をクリックします。

歸 ESET INSPECT Server 設定	_		×
サーバー証明書 コネクターとサーバー間の通信をセキュリティで保護する証明書を用	双得する	(H)28	
ESET INSPECTは、ESET INSPECTコネクターとESET INSPECTサーバー 護する証明書を取得する必要があります	間の通信で	をセキュリティ	で保
サーバー証明書の取得方法を選択する:			
● ESET PROTECTから証明書を取得する			
○ ファイルから証明書をインポートする			
<u>詳細情報</u> 戻る(B) こ	欠へ <mark>(ℕ)</mark>	キャン	セル

(15). サーバー証明書画面で、事前準備で作成した証明書(項番44.2で作成)を選択します。証明書パスワードは証明書作成時に設定したパスワードを入力します。
 (空にした場合、入力不要)

🛃 ESET INSPECT Server 設定		_		×
サーバー証明書 コネクターとサーバー間の通信を	セキュリティで保護する証明書	を取得する		
ESET INSPECTサーバー証明書	を選択する	新しい証	明書の作成	ž –
CN=xxx.xxx.xxx.xxx_Serv	er証明書;C=JP;			
証明書パスワード				
<u>言羊糸町 青幸履</u>	戻る(B)	次へ <b>(N)</b>	キャンセ	ZJU

(16). Web コンソール証明書画面で、EI Web Console で使用する証明書を選択し ます。ここでは既定の「コネクター/サーバー通信と同じ証明書を使用する」

0
•

/ ESET INSPECT Server 設定	—		×
Webコンソール証明書 WebコンソールのHTTPS/SSLを有効にする証明書を取得する	1000		
ESET INSPECTは、ESET INSPECT WebコンソールとWebブラウザー間のHTT る証明書を必要とします HTTP5/SSL証明書の取得方法を選択する: ○ ESET PROTECTから証明書を取得する ○ ファイルから証明書をインポートする ④ コネクター/サーバー通信と同じ証明書を使用する 追加のHTTP5/SSL証明書要件: - SHA-2アルゴリズムを使用してこの証明書に署名する必要があります(「ESS ~ 設定 > 接続」の「高度なセキュリティ」を有効にします) - 証明書の署名	TPS/SSL:	接続を有す TECT > サ れる認証	っ い し う が
WebブラウザーのHTTPS/SSL証明書リストに存在している必要があります。 ていない場合、ESET INSPECT Webコンソールに接続すると、Webブラウザ・ す。	これらの! -に警告 り	要件が満た が表示され キャン	=され れま セル

(17). ESET Inspect Server のインストール準備完了画面で [インストール] を クリックします。



## (18). インストール完了後に [完了] をクリックします。



### 7. EI Connector の展開【EP on-prem 側作業】

7.1 EI on-prem ライセンスの登録

※本手順は既に EI on-prem が利用可能なライセンスを EP on-prem に 登録している場合は実施不要です。

(1). EP Web Console に管理者権限のあるアカウントでログインします。

「日本語」を選択して、「EP ログインユーザー名」・「EP ログインパスワード」を入力 し、「ログイン」をクリックします。

ログイン	
A 1-5-2	
合 パスワード	
<ul> <li>日本語</li> </ul>	
□ ドメインユーザーとしてログイン	
✓ マルチタブでのセッションを有効化	<sup>1</sup> 2 - S
ログインパスワードの変更	o/////

### (2).[詳細]->[ライセンス管理]->[アクション]->[ライセンスの追加]をクリックします。

CSCI PROTECT DN-PREM	
ダッシュボード	<i>9</i> ७ ०
□>ピューター	
▲ ## ≤ レポート	#法     FG/ID-27-40      FG/ID-27-40
回 タスク 日 インストーラー	ω         β/5         β/5         ρ         οι9/τε>χα-47         οι9/τε>χα         λι>/γλά         ΧΔΑ         μ         μ         μ         χ         φ
@ #U\$-	▲ 344 NN 64 BETT PROTECTION ON PHEM BETT PROTECTION ON PHEM BETT PLANET. ✓ 2024
ú iatu	2.5/2 → 0.1 → 4         3.3.4 × NU < G4
♥ ステータス概要	10<
	2 <sup>2</sup>
I BULLA	小     →       →     ●       ●     □       ●
	□         0         9         1         9         1
	44 / 63

44 / bə

(3). ライセンス追加画面で[製品認証キー]を選択し、EI on-prem 用の製品認証キーを入力 します。[ライセンスの追加]をクリックします。

ライセンスの追加	$\times$			
次のオプションのいずれかを使用して、ライセンスを追加できます。 ESET Business AccountまたはESET MSP管理者 ● 製品認証キー ● オフラインライセンスファイル				
製品認疑≠ >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>				
ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー				
ライセンスの追加キャンセル				

(4). ライセンスが追加された旨のダイアログが出ますので、[OK]をクリックします。



(5). ライセンス管理画面に追加したライセンス情報が表示されることを確認します。



45 / 63

## 7.2(i) クライアントタスクによる EI Connector の展開

すでに EP on-prem でクライアントを管理している場合は、クライアントタスクを使 用して EI Connector をインストールが可能です。

(1).[タスク]->[新規作成]-> [クライアントタスク]にて次の通り設定し、[終了]をクリックします。

CENCT PROTECT CN-HEIM		▶ 入力すると検索を開始…	⑦ <sup>IJ</sup> クイックリンクマ ⑦ ヘルプマ 糸 ADMINISTRATOR I∃ <sup>□グデウ</sup> , 999	15
<b>タスク</b>	: ● ▷ ✓ アクセスグループ 道沢 値 ●エージェン	ト展- (0) タグ- マ	<ul> <li>(1) フィルタの適加</li> <li>マールタの適加</li> </ul>	0
□>ピューター         タスクタイプ		説明 タイプ	進行状況 前向の進行状況3期 変更時間 局後の ユーザー名	0
● 約二     ● D クライアントタスク       □ クスノ     ● D SISTICE - 1974 単品       □ クス     ● D SISTICE - 1974 単品       □ オリン     ● D SISTICE - 1974 単品       □ オリー     戸田       □ アニー     戸田       □ オリー     D SISTICE - 2974 単品       □ コージー     ● SISTICE - 2974 単品       □ コージー     ● SISTICE - 2974 単品       □ コージー     ● SISTICE - 2974 単品	E	クライアントタスク <u>97</u> ク > El Connectorインストール 基本 ▲ 設定 サマリー	名前       B Connectorインストール       タグ       タグを選択       説明       タスク分類       すべてのタスク       タスク       ソプトウエアインストール	>

### ■[基本]セクション

名前	任意の名前を設定します
説明	説明を記載します。
タスクの分類	すべてのタスク
タスク	「ソフトウェアインストール」を選択します

### ■[設定]セクション

インストールするパッケージ	[リポジトリからパッケージをインストール]を
	選択します
オペレーティングシステムを選択	利用 OS を選択します
リポジトリからパッケージを選択	<製品を選択>:ESET Inspector Connector
	※最新バージョンが選択されます
ESET ライセンス	登録した EI on-prem ライセンスを選択します
エンドユーザーライセンス契約へ	チェックを入れます
の同意	

インストールパラメータ	P_HOSTNAME="EI ServerのIPアドレス"
	P_IS_SERVER_ASSISTED=1
必要なときに自動的に再起動	チェックなし

(2).[トリガーの作成]をクリックします。



(3). [ターゲット]セクションで、[コンピュータの追加]または[グループの追加]をクリック

し、EI Connectorの展開対象を選択後、[OK]をクリックします。

	PROTECT ON-MEM		C C	∂マ コンピューター名	<sup>11</sup> クイックリンク マ	◎ ヘルプ マ	A ADMINISTRATOR	E 0775	7F
	ダッシュポード コンピューター	新しいトリガーの追加 <sup>タスク</sup> 〉El Connector インスト	- <i>ı</i> l						
<b>▲</b> ≃	検出 レポート	基本	ターゲットの適加			-			
2 0 0 	<b>クスク</b> インストーラー ポリシー 選知 ステータス概要 詳細 →	トリガー 詳細設定 - 調整	保存先の設定 グループ	▲ 0 ✓ 0 → -2×29-6 ■目見でで 2 ↓ 0 ±557001 ↓ ↓ 0 € 557001	ジ サブグループの表示 タグ キグブ ロッパパラトルビニ。 1921年0234113 キルビジェアル・1921年1 1921年1	25 € V	ペルタの追加 プリセッ モ: マ 前回の 更新 2022年11 更新 2022年11 更新 2022年11	トロー 博続 月2日 12:14:35 月2日 12:14:05 0月21日 1	ア5         ②           0         0           0         0           0         2
			① 訪いオペレーディングシステ、     ① 開墾のあまデバイス     ① アクティベーションされてい     1/20     ジーグット名     ESET001	ムC でお 2 deats	geud03ger 192.1 ワーグット調明		更新 2022年 ターゲットタイプ コンピューター	月30日 14  ↓ C	1 1.
	折りたたみ		利益					ОК	キャンセル

# (4). [終了]をクリックします。

œ	PROTECT ON-MEM			ロマ コンピューター名	□ クイックリンク マ	⊙ へレブマ & ADMINISTRATOR	🖂 ログアウト
		新しいトリガーの追加					
돠		タスク > El Connector インストール					
A							
~		基本	ターゲットの	の追加 ターゲットの削除			
Ē9		トリガー	9-	ゲット名	ターゲット説明	ターゲットタイプ	Ŕ
		詳細設定 - 調整		1001		コンピューター	
Ŷ			0				
v							
61	折りたたみ		戻る	続行 終了 キャン	ンセル		

(5).該当タスクの進捗状況が緑色に遷移したらタスクが成功です。展開対象の PC に「EI Connector」がインストールされていることをご確認ください。

œ	PROTECT ON-PREM					Gv⊽	コンピューター名	┚ クイックリンク マ	◎ へいプ マ	오 ADMINIST	RATOR 🖃 E	リグアウ	7F
		タスク	:	0	Þ©	~	アクセスグループ 選択 箇	▶ ソフトウェアイン	ン (1) タグ	~	0 7 50 75		
돠		タスクタイプ	Q								(4) フィルタの追加	ľ.	0
		へ 回 クライアントタスク	*		名前		ステータス	進行状況	タグ	説明	タイ	ブ	0
		へ 🗈 ESETセキュリティ製品	Ŀ										-
	タスク	D ESET LiveGuardにファイルを送信	Ŀ		ELCO	nnector	1721-11	•			97	POI.	1-1-
		D ESET製品の設定エクスポート											
		SysInspectorスクリプトの実行											
		D SysInspectorログ要求(Windowsの											
		▶ オンデマンド検査											
		🗈 コンピューターをネットワークか											
		> シ サーバー検査											

### 7.2(ii) オールインワンインストーラーによる EI Connector の展開

EP on-prem でクライアントを管理していない場合は、EP on-prem で作成したオールイ ンワンインストーラーを使用して、EM Agent とクライアント用プログラムと同時に EI Connector のインストールが可能です。

※ オールインワンインストーラーの作成には、インターネット接続環境が必須です。

## (1).[インストーラー]->[インストーラーの作成]をクリックします。



(2).「Windows」アイコン→ [インストーラーのダウンロードまたは ESET Remote
 Deployment Tool の使用] にチェックを入れ、コンポーネントを選択します。

PROTECT ON-HREM		🔶 🔎 хатаснеене.	)	A ADMINISTRATOR I UP721
9v52#-F	インストーラーの作成 インストーラー 〉ESET Management Agent			
▲ th# △ レポート Ga 930		۵		
曲 インストーフー む ポリシー 心 重加	Wiselow mut05	Linux		
한 ステージス成長 19년 >	<ul> <li>インストーフーボダウンロードまた計算11 Numbul Daploymon Tu コージェントの通信の更新ユージェントスクリプトインストーラー</li> <li>■私のためにCaroさたListConfeile用</li> </ul>	alの使用 -)		
	コンボーネント ② 卸型ホージンント ③ マロホージアント ③ マロホージー 第二			
	<ul> <li>✓ Exit Robell Content</li> <li>製品改善プログラム</li> <li>■</li> <li>■</li> <li>WilkEidプロ/フスム参加する <sup>®</sup></li> </ul>			
	続クループ 電気 原たは 作成 サーバーホストや1またはサーバーのPアドレス3 ①			
	(10): 14155501UM/kadamán >> - −			
ビー 振りたたみ	55 (H) (17)			

セキュリティ製品	チェックを入れます
ESET Inspect Connector	チェックを入れます

※「管理エージェント」には規定でチェックが入っています。

(3).インストールするクライアント端末をすでに作成されたグループに登録する場合は、 [親グループ]の[選択]をクリックしてグループを指定します。

※ 特に登録するグループを指定しない場合は「LOST+FOUND」に登録されます。

※ 新しくグループを作成したい場合は、[作成] をクリックして作成します。

インストーラーの作成				
ダッシュボード > ESET Management A	Agent			
基本				
製品の設定		4	A	
₩G17D				
	Windows	macOS	Linux	
	配布			
	<ul> <li>インストーラーのダウンロードまた</li> </ul>	はESET Remote Deployment Toolの使用		
	エージェントの最初の展開(エージェ	ントスクリプトインストーラー)		
	展開のためにGPOまたはSCCMを使用	B		
	コンポーネント			
	▶ 管理エージェント			
	✓ セキュリティ製品			
	製品改善プログラム 推奨			
	✓ 製品改善プログラムに参加する ⑦			
	親グループ			
	選択 または 作成			
		^		-
	戻る 続行 終了	キャンセル		

# (4). [サーバーホスト名(またはサーバーの IP アドレス)] に、セキュリティ管理ツール のホスト名、または、IP アドレスを入力します。

インストーラーの作成 ダッシュボード 〉ESET Management	Agent
基本	サーバーホスト名(またはサーバーのIPアドレス) ⑦
製品の設定 配布	x
	● ポート

## (5).ポート番号「2222」が入力されていることを確認します。

インストーラーの作成 ダッシュボード > ESET Management Agent		
基本	サーバーホスト名(またはサーバ-	-のIPアドレス) ⑦
製品の設定		×
	●ポート	
	2222	
	<ul> <li>ピア証明書</li> </ul>	

# (6). [ピア証明書] の [ESET PROTECT 証明書] を選択し、証明書が正しいことを確認 します。

### パスフレーズを設定している場合は、設定したパスフレーズを入力します。

インストーラーの作成 ダッシュホード 〉 ESET Management	インストーラーの作成 ダッシュポード > ESET Management Agent				
基本	サーバーホスト名(またはサーバーのIPアドレス) ⑦				
製品の設定 配布	× • ポート 2222 ☆ • ピア証明書				
	<ul> <li>ESET PROTECT証明書</li> <li>カスタム証明書</li> </ul>				
	<ul> <li>ESET PROTECT証明書</li> <li>説明 サーバー証明書、</li> </ul>				
	証明書パスフレーズ ③				

## (7). [その他の設定をカスタマイズ]をクリックし、必要に応じて各項目を設定します。

インストーラーの作 インストーラー 〉ESET End	成 point Security + ESET Inspect Connector
基本	証明西ハスノレース (2)
製品の設定	
配布	その他の設定をカスタマイズへ
	<ul> <li>インストーラー名</li> </ul>
	ESET Endpoint Security + ESET Inspect Connector $\qquad \times$
	<b>説明 (</b> 任意)
	コンボーネントインストール
	常に利用可能な新バージョンの製品とコンボーネントをインストール ②
	<b>タ</b> ヴ たれた出日
	この構成は初期構成としてのみ使用されます。ポリシーが適用されたグループ内にデバイスが設置される場合、構成は置き換えられます。 コンピューターの「適用預みポリシー」で初期構成は見えません。
	エージェント設定
	選択 または 作成
	HIIVノロキン設定を有効にする
	戻る     続行     キャンセル

インストーラー名	任意の名前を入力します。
コンポーネントインストー	チェックを入れるとリポジトリに公開されている最新バ
ル	ージョンがインストールされます。
エージェント設定	ESET Management エージェントにポリシーを適用す
	る場合、[選択] または[作成]をクリックします。

- (8). [製品の設定] → [セキュリティ製品] を選択し、以下の設定をして [OK] ボタンを クリックします。
  - ・製品を変更する場合、インストールしたいクライアント用プログラムを選択
  - ・[言語] を [日本語] に設定
  - ・プログラムのバージョンを変更する場合、[詳細] にチェックを入れてバージョンを 選択

基本 <b>製品の設定</b>	• セキュリティ製品		
泥布	ESET Endpoint Security パーション 日本語言語、WINDOWS 保護およびインストール設定 推奨	製品を選択 <ul> <li>ESET Endpoint Antivirus</li> <li>ESET Endpoint Security</li> </ul>	
	<ul> <li>インストール中に保護設定を変更することを許可</li> <li>エンドユーザーライセンス契約 i</li> <li>エンドユーザーライセンス契約に同意し、プライバシーボリシーを承諾し、 その他の設定を力スタマイズ へ</li> </ul>	UESET Server Security for Microsoft Windows Server 重語 日本語 マ その他の設定をカスタマイ	

(9). [エンドユーザーライセンス契約に同意し、プライバシーポリシーを承諾します。] に

### チェックを確認します。

インストーラーの インストーラー 〉 ESET End	作成 point Security + ESET Inspect Connector
基本 <b>製品の設定</b> 配布	<ul> <li>・セキュリティ 製品         ESET Endpoint Security: パージョン 日本語言語、WINDOWS         保護およびインストール設定 推奨         ✓ ESET LiveGrid © フィードパックシステムを有効にする ③         ✓ ご 望ましくない可能性のあるアプリケーションの検出を有効にする ③         「インストール中に保護設定を変更することを許可         ・エンドューザーライセンス契約 i         「マ エンドューザーライセンス契約に同意し、プライパシーボリシーを承諾します。     </li> </ul>
	その他の設定をカスタマイズへ

(10). [その他の設定をカスタマイズ] をクリックし、[ライセンス] にオールインワンイ ンストーラーの作成に利用するライセンスが登録されているか確認します。

基本	
製品の設定	* ゼキュリティ 製品
尼布	
	★ ESET LiveGrid®フィードバックシステムを有効にする ③
	✔ 望ましくない可能性のあるアプリケーションの検出を有効にする ⑦
	インストール中に保護設定を変更することを許可
	<ul> <li>エンドユーザーライセンス契約 i</li> </ul>
	✓ エンドユーザーライセンス契約に同意し、プライバシーボリシーを承諾します。
	その他の設定をカスタマイズ へ
	31t>X ×
	4X/C
	選択 または 作成
	ESET AV Removerを実行
	ESET AV Removerを有効にすると、該当するエンドユーザーライセンス契約に同意したものとします
	モジュールインストール
	すべてのESETモジュールが含まれるセキュリティ製品インストーラーを使用 ②

(11).クライアント用プログラムにポリシーを適用する場合、[設定]の[選択]を クリックします。

基本	
長品の設定	- セキュリティ 製品
影術	East Inspont Security パーション 、 日本経営者、 WINDOWS 保護およびインストール設定 推測
	✓ ESET LiveGndキフィードバックシステムを有効にする ⑦
	✓ 留ましくない可能性のあるアプリケーションの検出を発効にする ③
	□ インストール中に保護設定を変更することを許可
	<ul> <li>エンドユーザーライセンス契約 i</li> </ul>
	◎ エンドユーザーライセンス契約に問題し、プライバシーボリシーを承認します。
	その他の設定をカスタマイズ へ
	ライセンス
	×
	1976
	道沢、または、存成
	ESET AV Removerを実行
	ESET AV Removerを育効にすると、該当するエンドユーザーライセンス契約に同意したものとします
	モジュールインストール
	「すべてのESETモジュールが含まれるセキュリティ製品インストーラーを使用 ③

(12). [ESET AV リムーバーを実行] にチェックが入っていないことを確認します。

その他の設定をカスタマイズ ヘ	
ライセンス	
13定   選択 または 你成	
ESET AV Removerを実行	
ESELAR KEMOVEREMOL 9 SC、設当9 SLントエーサーフイゼンス発行に同意したものとしま9 モジュールインストール	
□ すべてのESETモジュールが含まれるセキュリティ製品インストーラーを使用 ⑦	

# (13). [モジュールインストール] に以下の通り設定します。

	ESET AV リムーバーを実行 ESET AV REMOVERを有効にすると、該当するエンドユーザーライセンス契約に同意したものとします
	モジュールインストール 「 すべてのESETモジュールが含まれるセキュリティ製品インストーラーを使用 ⑦
व	べての必須フィールドを入力してください
	戻る         株行         キャンセル

フルモジュールインストーラーを使用する場合	チェックを入れる
最小モジュールインストーラーを使用する場合	チェックを外す

(14). [製品の設定] → [ESET Inspect Connector] 内にあるプログラム名をクリックし、必要に応じて[詳細]にチェックを入れてバージョンを選択します。

※言語は英語のみとなります。

基本	設定 3312 またけ 655	
D245	また、または、UPP SET AV Removerを実行 ESET AV Removerを有効にすると、該当するエンドユーザーライゼンス契約に同意した モジュールインストール アベてのESETモジュールが含まれるセギュリティ製品インストーラーを使用 ③	たのとします
	<ul> <li>● ESET Inspect Connector</li> <li>■ ISIT Inspect Connector パージョン2850880、原語言語、WithDOWE</li> <li>● エンドユーザーライセンス移り i</li> <li>◎ エンドユーザーライセンス移均に用意し、プライパシーボリシーを承諾します。</li> <li>その他の協定をカスタマイス &gt;</li> </ul>	製品を選択 ESET Inspect Connector 言語 英語 マ
		その他の設定をカスタマイ ズ 26. × マ 変更ログの表示

(15). [エンドユーザーライセンス契約に同意し、プライバシーポリシーを承諾します。] にチェックを確認します。

基本         設定           駅日の設定         説沢 または 作成           配布         EST AV Removerを我知           「ST AV Removerを我知にすると、該当するエンドユーザーライセンス契約に両意したものとします           モジュールインストール           「すべての551Tモジュールが含まれるセキュリティ製品インストーラーを使用 ③	
配布 ESET AV Removerを受行 ESET AV Removerを受行 ESET AV Removerを受け ESET AV Removerを受け モジュールインストール  すべてのESETモジュールが含まれるセキュリティ製品インストーラーを使用 ③	
<ul> <li>ESET Inspect Connector</li> <li>ESET Inspect Connector:パージョン2.6.5058.0、英語言語、WINDOWS</li> </ul>	
* エンドユーザーライセンス契約 i ② エンドユーザーライセンス契約に同意し、プライパシーボリシーを呆屈します。	

(16). [その他の設定をカスタマイズ]をクリックし、以下の設定をします。・サーバーホスト名に EI Server のホスト名または IP アドレスを入力

・ポートに 8093(既定)を入力

インストーラーの作成	
インストーラー > ESET Endpoint Secu	rity + ESET Inspect Connector
基本	● エンドユーザーライセンス契約
製品の設定	✓ エンドユーザーライセンス契約に同意し、プライバシーボリシーを承諾します。
配布	その他の段定をカスタマイズ へ
	<ul> <li>ライセンス</li> </ul>
	×
	<b>設定</b> 道沢 または 作成
	ESET Inspectrサーバー設定
	サーバーホスト名
	認証局
	O ESET PROTECT認証局
	カスタム認証局
	ESET PROTECT認証局
	選択

(17).認証局では[ESET PROTECT 認証局]を選択し、[選択]をクリックして認証局を 選択します。

インストーラーの作成 インストーラー 〉ESET Endpoi	nt Security + ESET Inspect Connector
基本 製品の設定	<ul> <li>エンドユーザーライセンス契約</li> <li>エンドユーザーライセンス契約に簡意し、プライバシーボリシーを承継します。</li> </ul>
配布	その他の設定をカスタマイズ へ ● ライセンス ×
	設定 選訳 または 作成 ESET Inspect サーバー設定 サーバーホスト名 ボート 登録局 ご ご ご ご ご こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ



(18).[終了]をクリックし、インストールするクライアント端末の環境にあわせて、[32bit 版をダウンロード]、[64bit 版をダウンロード]、のいずれかをクリックします。

(19).ダウンロードしたオールインワンインストーラーを各クライアントに展開して実行します。

### 8. EI Web Console の確認【EI 側作業】

(1). https://(EI Server を導入したサーバーの IP アドレス)にアクセスします。

以下の画面が表示されますので、「xxx.xxx.xxx にアクセスする(安全ではありま せん)」をクリックします。

A
この接続ではプライバシーが保護されません。
xxx.xxx.xxxxxxxx では、原意のあるユーザーによって、バスワード、メッセージ、クレジ ットカードなどの清極が当まれる可能性があります。詳細
NET::ERR_CERT_AUTHORITY_INVALID
アクセスしたページの URL、システム情報、およびページのコンテンツの一転を Google に送信して、Chrome ゼキュリティの改善にご協力ください。プライバシーボリシー
詳細情報を表示しない されたページに使る
このサーバーが xxx.xxx.xxx であることを確認できませんでした。このサーバーのゼ キュリティ証明書は、ご使用のパシコンのオペレーティングシステムによって信頼され ているものではありません。原因としては、不透切な設定や、悪意のあるユーザーによる 接続的香が考えられます。

### 注意

ここでは、ESET PROTECT インストール時に作成したセキュリティ証明書を利用しているため、管理画面アクセス時に上記の注意画面が表示されます。お使いのブラウザにより、表示内容が異なります。

(2).言語「日本語」を選択して「項番 4.3 ユーザーアカウント作成(例:本手順書では EI\_SERVER」)」で作成した、ユーザー名、パスワードを入力し [ログイン]をクリック

し	ま	す	-
			_

<b>ESET</b> PROTECT & INSPECT ON-PREM	
<ul> <li>□グイン</li> <li><sup>®</sup> ユーザー名</li> <li><sup>©</sup> Japanese</li> <li>○ F×インユーザーとしてログイン</li> <li>□グイン</li> </ul>	
Progress, Protected. AU.728 ( Copyright (c) 1992-2023 5517, spor. s r.o. AI Xights Reserved.	



#### (4).以下の画面では期間と対象グループを指定し自動で除外ルールを作成可能です。(任意)

ルール学習モードを有効にする	×
学習モードではネットワークにESET INSPECTを適応するための除外た 有効にすると、検出された検出は誤検知と見なされ、対応する除外た 重要:	が自動的に作成されます。 が作成されます。
これらの除外は、質問ビューで確認し、いつでも無効にすることがで 定ビューから学習モードを定期的に実行します。	できます。除外を最新の状態に保つには、設 ターの学習エードを1週間マクティブル」ま
「有効にする」をシリタンクビス・ネットノーンパのすべてのコンピューターのサ す。または、感染していないことがわかっているコンピューターのサ をカスタマイズすることもできます。	ラーのテロモートを1回回アクチョン100よ ナブセットのみを使用して、除外の作成方法
	有効にするのカスタマイズ
	ルール学習モードを有効にする
	学習モードを有効にするコンピューターを選択します。
	グループ P



es	PROTECT & INSPECT	ON-PREM ::::         すべてのコンビュ ×         ① ヘルブマ         & ADMINISTRATOR         ログアウト ・9分
	ダッシュボード	ダッシュボード ④ フィルタの追加
돠		▲ 狭山 oề インシデント № 実行ファイル 🖓 コンピューター i 詳細 🍶 サーバーのステータス 🌵 イベントの読み込み
▲		未解決のESET Inspect検出トップ10 未解決のESET Endpoint Security検出トップ10
Q		
જ		
Þ		このタイプのデータはありません このタイプのデータはありません
¥		
Φ		
		ESET Inspect検出 ESET Endpoint Security検出
		■ 1日あたりの検出数 4 1 4 1
		3
		2
		1 1
E	折りたたみ	0 2024年10月5日 2024年10月13日 2024年10月2日 2024年10月31日 日付 日付

## (5). EI on-prem にログインできることを確認します。

以上で ESET Inspect on-prem の導入は完了です。

※以降は EI on-prem 導入時の ESET Endpoint 製品の推奨設定をご案内しております。

 EI on-prem 導入時の ESET Endpoint 製品の推奨設定 高度なセキュリティを保ちつつ、EI on-prem をより効果的に活用いただくために 以下の設定を推奨いたします。

## 9.1 推奨設定の実施(ESET Endpoint 製品の詳細設定)

### (1). 【SSL/TLS を有効にする】を有効にします。

詳細設定		Q × ?
保護 リアルタイムファイルシステム 保護 HIPS クラウドベース保護	<ul> <li>SSL/TLS</li> <li>SSL/TLSを有効にする</li> <li>SSL/TLSモード</li> <li>自動モードでは、SSL/TLSは、Webブラウザや電子メール</li> <li>古がです。アロバーション・キャビサービーを知想思知に</li> </ul>	5 「自動 ~」 クライアントなどの目動的に選択されたアフリケーションでのみ 地名と主義でます。
イットワーフアクレス休護 電子メールクライアント保護 Webアクセス保護 ブラウザーの保護 デバイスコントロール ドキュント保護	マプリケーション検査ルール 証明書ルール SETICよって信頼されたドメインのトラフィックを	編集 ④ 編集 ④
使宜 アップデート	ESETルート証明書をサポートされているアプリケ ーションに統合	•
接続	証明書の表示	証明書の表示
トラブルシューティング	証明書の信頼を確立できない場合のアクショ ン	証明書の有効性を確認する 、
リモート管理	古いSSL2で暗号化されたトラフィックをブロック	
ユーザーインターフェース	破損した証明書に対するアクション	証明書を使用する通信をブロック >
既定値	• 6/17e.4	СК Фок ‡r>tul

### (2). 【SSL/TLS モード】をポリシーベースモードにします。

<b>ESET</b> ENDPOINT SECURITY			$\Box \times$
詳細設定		Q	× ?
保護 1 リアルタイムファイルシステム	▪ 検出応答		5
保護 HIPS	SSL/TLS		٩
クラウドベース保護 ネットワークアクセス保護	SSL/TLSを有効にする		0
電子メールクライアント保護	SSL/TLSモ−ド	ポリシーベース	~
Webアクセス保護 ブラウザーの保護	ポリシーベースモードでは、設定された例外を除き、すべて たはサーバー証明書を除外できます。	いいたい交流がフィルクリンクされます。アフリケー	<del>) s)</del> t
デバイスコントロール			
ドキュメント保護	アプリケーション検査ルール	編集	0
検査	証明書ルール	編集	0
アップデート	ESETによって信頼されたドメインのトラフィックを 検査しない		0
接続	ESETルート証明書をサポートされているアプリケ		0
トラブルシューティング			
リモート管理		証明者の表示	
コーザーノンターフェーフ	証明書の信頼を確立できない場合のアクン3 ン	証明書の有効性を確認する	~
1-9-129-21-2	古いSSL2で暗号化されたトラフィックをブロック		
既定值		<b>€</b> 0К ‡т	ッンセル

※ポリシーベースモードはデフォルトで全ての SSL/TLS 接続がフィルタリングされて しまうため、必要に応じて【アプリケーション検査ルール】と【証明書ルール】の編集 を行い、検査アクション"無視"を設定してください。

eset ENDPOINT SECURITY			$\Box \times$
詳細設定		Q	× ?
保護 リアルタイムファイルシステム	検出応答		5
保護 HIPS	SSL/TLS		5
クラワトベース保護 ネットワークアクセス保護	SSL/TLSを有効にする		0
電子メールクライアント保護	SSL/TLSE-K	ポリシーベース 、	
Webアクセス保護 ブラウザーの保護	ハリンーハースモートでは、設定された例外を除き、9へでたはサーバー証明書を除外できます。	.UJSSL/TLS接続かフィルタリンクされます。アフリケー:	ションま
デバイスコントロール	_		
ドキュメント保護	アプリケーション検査ルール	編集	0
検査	証明書ルール	編集	0
アップデート	ESETによって信頼されたドメインのトラフィックを 検査しない		0
接続	ESETルート証明書をサポートされているアプリケ ーションに統合		0
トラノルシューテインク	証明書の表示	証明書の表示	
リモート管理	証明書の信頼を確立できない場合のアクショ	証明書の有効性を確認する	2
ユーザーインターフェース	>		
	古いSSL2で暗号化されたトラフィックをフロック		
既定値		<b>Фок</b> ‡р.	ンセル 🛛

(3). 【ESET によって信頼されたドメインのトラフィックを検査しない】を無効にします。

※ドメインフロンティング攻撃に対応する為の設定です。

CESET ENDPOINT SECURITY		
詳細設定		Q X ?
保護 2	I SSL/TLSを有効にする	•
リアルタイムファイルシステム 保護 HIPS クラウドベース保護	SSL/TLSモード ポリシーベースモードでは、設定された例外を除き、すべての たはサーバー証明書を除外できます。	ポリシーベース v  DSSLITLS接続がフィルタリングされます。アプリケーションま
ネットワークアクセス保護 電子メールクライアント保護 Webアクセス保護	アプリケーション検査ルール	編集 🙆
フラウザーの保護 デバイスコントロール ドキュメント保護	証明書ルール ESETIによって信頼されたドメインのトラフィックを 検査しない	
検査	ESETルート証明書をサポートされているアプリケ ーションに統合	•
アップデート	証明書の表示	証明書の表示
接続	証明書の信頼を確立できない場合のアクショ ン	証明書の有効性を確認する 、
トラブルシューティング	古いSSL2で暗号化されたトラフィックをブロック	
リモート管理	破損した証明書に対するアクション	証明書を使用する通信をブロック >
ユーザーインターフェース	• 976200h	ځ
既定値		<b>Эок</b> <i>‡</i> r>tul

(4). 【リアルタイムファイルシステム保護を有効にする】を有効にします。 ※無効の場合、EI on-premの機能を正常に利用できません。

詳細設定		Q	× ?
	リアルタイムファイルシステム保護		5
リアルタイムノアイルシステム 保護	リアルタイムファイルシステム保護を有効にする		0
HIPS クラウドベース保護 ネットワークアクセス保護	検査するメディア		
電子メールクライアント保護 Webアクセス保護	ローカルドライブ		0
ブラウザーの保護	リムーバブルメディア		0
テバイスコントロール ドキュメント保護	ネットワークドライブ		0
検査	検査のタイミング		
アップデート	ファイルのオープン		0
接続	ファイルの作成		0
トラブルシューティング	ファイルの実行		0
リモート管理	リムーバブルメディアブートセクターアクセス		0
ユーザーインターフェース	プロセスの除外		
既定值		€ок	キャンセル

### (5).【HIPS を有効にする】を有効にします。

### ※無効の場合、EI on-premの機能を正常に利用できません。

eset ENDPOINT SECURITY			$\Box \times$
詳細設定		Q	× ?
保護 2	HIPS		ځ
リアルタイムノアイルシステム 保護	HIPSを有効にする		0
HIPS クラウドベース保護	ルール	編集	0
ネットワークアクセス保護	使用するデバイスドライバー	編集	0
電子メールクライアント保護 Webアクセス保護	アドバンスドメモリスキャナーを有効にする		0
ブラウザーの保護	エクスプロイトブロッカーを有効にする		0
デバイスコントロール	フィルタリングモード	自動	~ <b>0</b>
冷奈		1970/01/01 ¥ 9:00:00	$\hat{\mathbf{v}}$
快旦 アップデート		ユーザーに確認する	~
接続	ブロックされた操作をすべて記録		0
トラブルシューティング	スタートアップアプリケーションに変更があったとき		
リモート管理	7田大山 9 つ	_	
ユーザーインターフェース	■ 自己防衛		٢
既定值		€ок	キャンセル

本手順書は以上で終了です。